

コロナインドヒーポン 標準取付枠 据付説明書

安全上のご注意

■据付工事前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しく据え付けてください。
 ■ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明		■図記号の説明	
	警告 *取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されることを示します。		図記号の意味 禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	注意 *取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されることを示します。		指示する行為を強制（必ず守ること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■据付工事終了後、この据付説明書とあまった部品は、移設時などに必要ですので、取扱説明書とともに大切に保管し、移設時などに読み直してください。

警告		注意	
	据え付けは、重量に耐える所に据付説明書に従って確実におこなう。 強度不足や据え付けが不完全な場合は、水もれ、感電、火災、エアコン落下によるケガの原因になります。		可燃性ガスのもれる恐れのある場所へ据え付けない。 万一ガスがもれてエアコンの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。
	電気工事が必要な場合は、お買いあげの販売店または、専門業者に依頼する。 電源回路容量不足や配線などに不備があると漏電や火災の原因になります。		取付枠のバックヤシールは確実におこなう。 不確実な場合は屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
	窓枠に取り付けた取付枠にエアコンを取り付けて確実に固定する。 エアコンの固定が不確実な場合は、エアコン落下によるケガの原因になります。		ドレンホースは確実に排水するように配管する。 不確実な場合は屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
	据え付けは、必ず付属の「標準取付枠」を使って正しく据え付ける。 取付枠や据付方法に不備があるとエアコン落下によるケガの原因になります。		漏電しや断器を取り付ける。 漏電しや断器が取り付けられていないと感電、火災の原因になります。
	アース（接地）は確実におこなう。 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になります。		お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。
	据付工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。 当社指定部品を使用しないと、水もれ、感電、火災、エアコン落下によるケガの原因になります。		

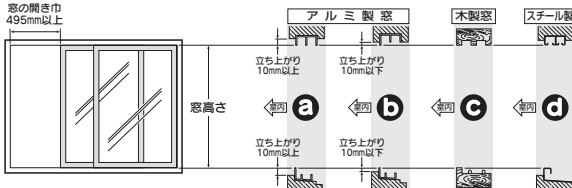
据付前の確認

- ネジによる据え付けによって、取り付けあとが残ることがあります。
- 窓の種類、高さにより据え付け方法が異なります。
- 窓の右側、左側どちらにも据え付けができます。ただし、窓の構造によっては、右側据え付けで戸締まりができない場合があります。
- 窓の開き巾は、495mm以上必要です。

■据え付けられる窓

窓の種類	窓高さ	据付手順		
		参照ページ P4	参照ページ P2	参照ページ P3
a アルミ製窓 (立ち上がり10mm以上の場合)	813~888mm	(B) →	【据付手順】1~9	【工事の仕上げ】
	888~1400mm	(B) →	【据付手順】1~9	【工事の仕上げ】
b アルミ製窓 (立ち上がり10mm以下の場合)	843~918mm	(A) 1 → (B)	【据付手順】1~9	【工事の仕上げ】
	918~1400mm	(A) →	【据付手順】1~9	【工事の仕上げ】
c 木製窓	918~1400mm	(A) →	【据付手順】1~9	【工事の仕上げ】
d スチール製窓				

■窓の高さが、1400~1900mmの場合は、「テラス窓用取付枠」(別売)と接続して使用してください。



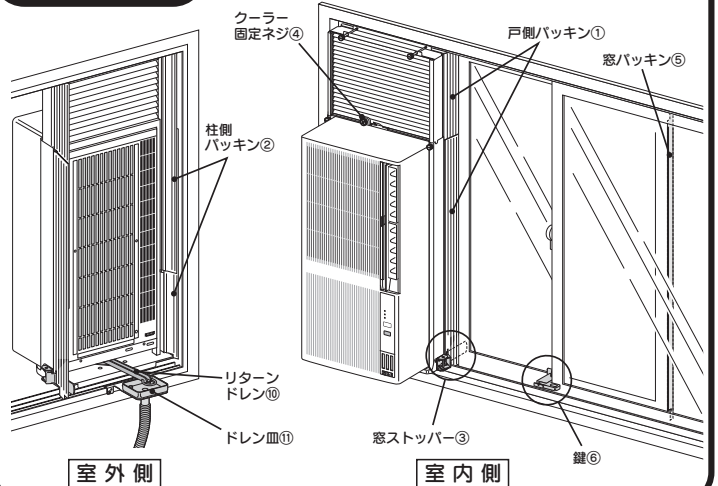
■据付場所を選ぶ

- 冷温風吹出口前方に障害物がなく、部屋全体に冷温風がゆきわたる場所。
- 室外側の風通しがよく、背面から出る冷温風がこもらない場所。
- 窓が強く揺動の伝わりにくい場所。
- 可燃性ガスのもれる恐れのない場所。
- 雨といの直下は避け、吹き降りなどにより窓から雨水が侵入しない場所。
- 背面からの冷温風が隣家の窓に吹きつけたりせず、また騒音の伝わりにくい場所。
- 取付枠を使用し確実に据え付けをおこなわない場合は、屋内に水漏れし、家財などを濡らす原因となります。

■騒音等にもご配慮を

- 1) 据え付けにあたってはウインドエアコンの重量に十分耐える場所で、運転音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- 2) ウインドエアコンの室外側吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 3) ウインドエアコンの室外側吹出口の近くに物を置きますと、機能低下や騒音増大のもととなりますので吹出口の付近には、障害物を置かないでください。
- 4) ご使用中、異常音がある場合はお買いあげの販売店にご相談ください。

完成図



用意する主な工具

- 巻尺(約2m)
- コインまたはφドライバー(幅広)
- φドライバー
- はさみ(カッター)

部品展開図

据付手順1
 戸側バックヤシール① 2枚 (幅が広い)
 柱側バックヤシール② 2枚 (幅が狭い)

据付手順2
 窓ストッパー③
 ナベタッピンネジ② (φ4×8) 2本

据付手順5
 ドレン皿⑩
 ドレン皿止め板②
 ドレンホース⑩
 スペーサー④
 ナベタッピンネジ⑦ (φ4×12) 2本
 トラスタッピンネジ⑧ (φ4×8) 2本
 ナベドリリングネジ⑨ (φ3.5×13) 2本

据付手順7
 窓バックヤシール⑥ ※粘着剤付

据付手順8
 鍵⑥
 丸ドリルネジ⑤ (φ3.5×10) 2本 ※アルミ製窓に使用
 丸木ネジ⑥ (φ3.5×16) 2本 ※木製窓に使用

工事の仕上げ 3
 粘着テープ② ※雨水が侵入しないように使用

据付手順1
 上部締付ネジ⑦ 2本 (短い)

据付手順6
 クーラー固定ネジ④

アコーディオンパネル②

締付ナット⑥

リターンドレン⑩

据付手順1
 下部締付ネジ⑨ 1本 (長い)

工事の仕上げ 4
 バテ② ※雨水が侵入しやすい所に使用

(B)裏面
 小窓シール⑧ ※高さが低い窓のときに使用 ※粘着剤付

(A)裏面
 補助金具③ 2本 ※窓の立ち上がりが低いときに使用

ドリルネジ② (φ3.5×13) 4本 ※アルミ製窓に使用

丸木ネジ③ (φ4.1×20) 4本 ※木製窓に使用

据付手順

「左側据え付け」を基準に説明しています。

アルミ製窓（立ち上がり10mm以上）で、窓高さが888～1400mmの場合

据付手順 1へ

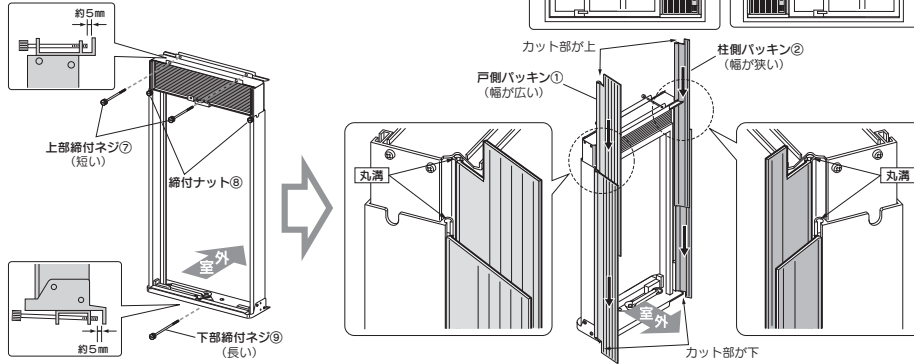
それ以外の窓の場合

裏面 A または B へ

据付手順 1へ戻る

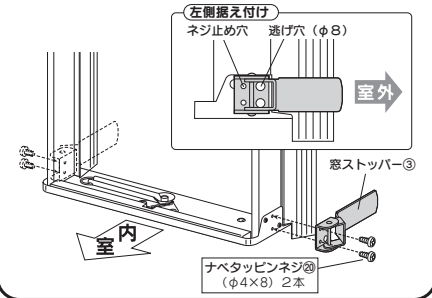
1 上部・下部締付ネジと戸側・柱側パッキンを取り付ける

- 上部締付ネジ⑦(2本)と下部締付ネジ⑨(1本)を取り付けます。図のように約5mmすきまを開けて取り付けてください。
- 戸側パッキン①(2枚)、柱側パッキン②(2枚)を取付枠の丸溝に沿って上から差し込んでください。上下に切り欠きがかかるように、差し込み方向に注意してください。
- 本図は「左側据え付け」の場合を説明しています。「右側据え付け」にする場合は、戸側パッキン①と柱側パッキン②が逆になります。



2 窓ストッパーを取り付ける

- 窓ストッパー③をネジ⑩を使用して、戸側の取付枠に取り付けます。
- 「左側据え付け」の場合は図のように取付枠の右側に、「右側据え付け」の場合は取付枠の左側に取り付けます。※逃げ穴(φ8)が室外側にくるように取り付けてください。

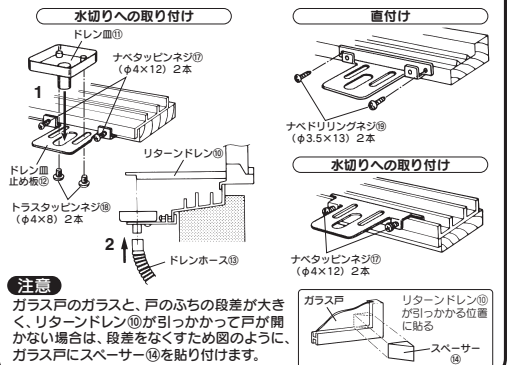


5 ドレン工事をする

- ドレン水を適正な所まで導きます。
- リターンドレン⑩を取付枠より引き出し、ガラス戸にリターンドレン⑩が引っかかりせず、スムーズにガラス戸が開閉するが確かめてください。
- 雨戸の戸袋側への据え付け、シャッター式の雨戸への据え付けの場合には、リターンドレン⑩の自動動作が不可能になります。この場合は、戸締め時には、リターンドレン⑩は手で収納してください。

- 1 窓枠にドレン皿⑪とドレン皿止め板⑫を取り付けます。※リターンドレン⑩の先端がドレン皿⑪の中心になるように取り付けます。※リターンドレン⑩がガラス戸の開閉時ドレン皿⑪に当たらない取り付け方をおこなってください。

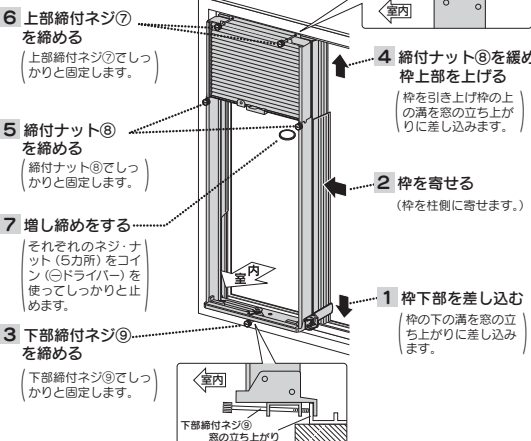
- 2 ドレンホース⑬をドレン皿⑪に接続します。※延長する場合は市販のビニールホース(内径φ16mm)を接続してください。



3 枠を据え付ける

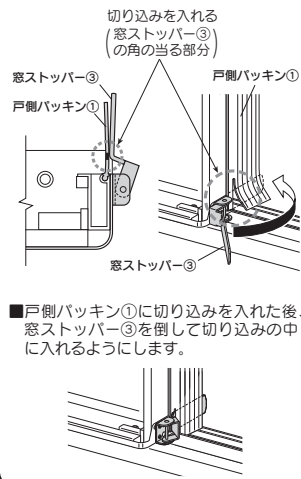
- 注意** ネジ・ナットは、必ずコイン(ドライバー)を使用して増し締めをしてください。ネジによる据え付けによって、取り付けあとが残ることがあります。

- 1 から順番におこなってください。



4 戸側パッキンに切り込みを入れる

- 窓ストッパー③を倒して戸側パッキン①に切り込みを入れる位置を決めます。はさみ(又はカッター)で下から切り込みます。

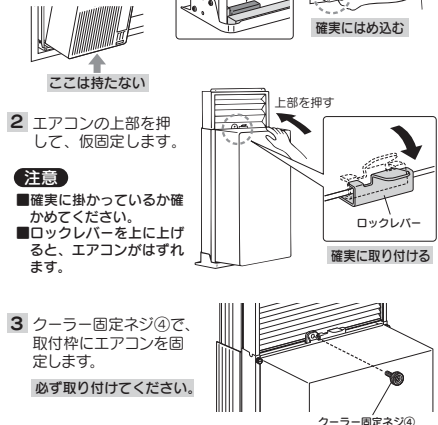


- 戸側パッキン①に切り込みを入れた後、窓ストッパー③を倒して切り込みの中に入れるようにします。

6 エアコンを取り付ける

- 1 取付枠下部の凸部に、エアコン底部の凹部をはめ込みます。

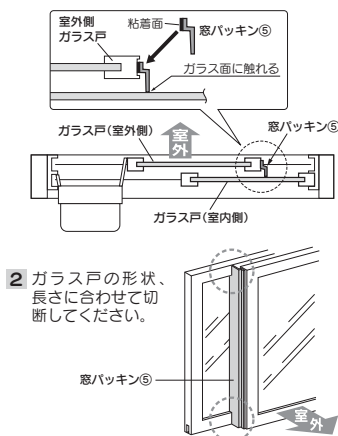
- 注意**
- 手をはさまないように注意してください。
 - エアコン前面パネルは持たないでください。



7 窓パッキンをつける

- 1 ガラス戸のすき間から外気や虫などが侵入するのを防止するため、室外側のガラス戸に窓パッキン⑤を図のように貼り付けてください。

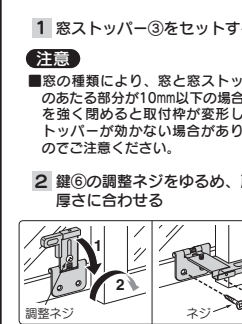
- 注意** 貼付部分のほこりなどをよく拭き取ってから貼り付けてください。



- 2 ガラス戸の形状、長さに合わせて切断してください。

8 鍵をつける

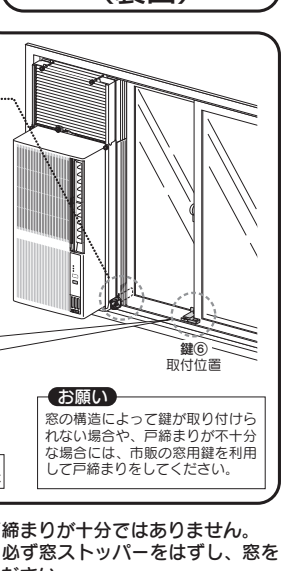
- エアコン使用中の戸締まりのため、鍵⑥を取り付けます。
- 1 から順番におこなってください。



- 3 鍵⑥をネジで取り付ける

- 注意** 防犯上、付属の鍵では戸締まりが十分ではありません。お出かけのときなどは、必ず窓ストッパーをはずし、窓を開けて窓の鍵をかけてください。

9 工事の仕上げへ(裏面)



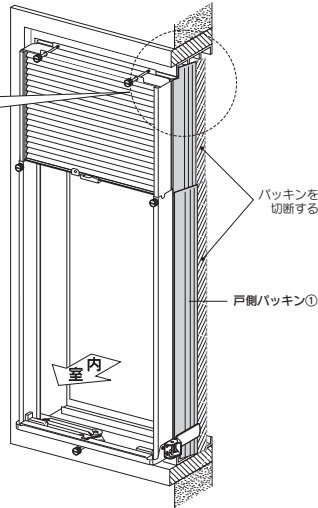
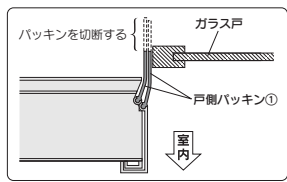
工事の仕上げ

お知らせ

戸側・柱側パッキンの曲がりぐせは、高温にさらすか、お湯につけてなおすことができます。

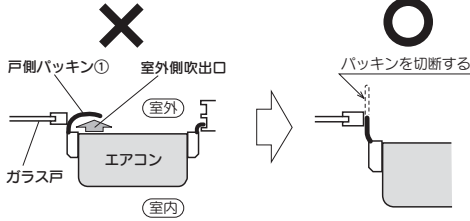
1 戸側パッキンを切断する

■ガラス戸よりはみ出した戸側パッキン①を切断します。



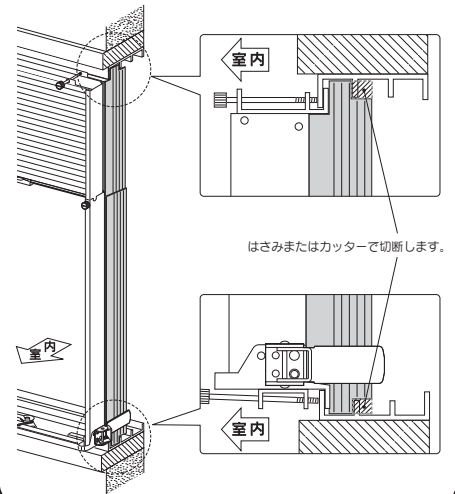
右側据え付けの場合

エアコンの吹出口をふさぐおそれがありますので、必ず切断してください。



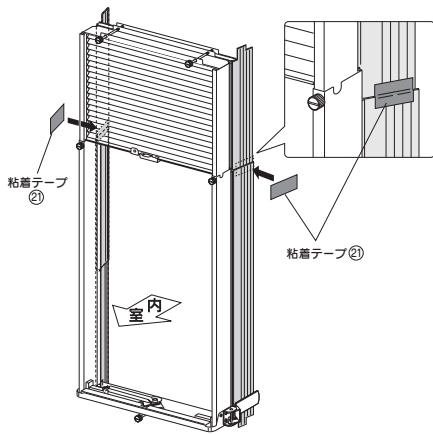
2 戸側パッキンを切り欠く

■戸側パッキン①を窓の形状に合わせて、はさみ (カッター) で切り欠きます。



3 粘着テープを貼る

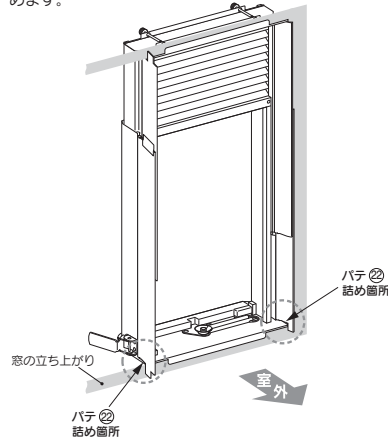
■パッキンの合わせ部を粘着テープ②で貼り、固定します。



※戸側・柱側を同様におこないます。

4 パテを詰める

■窓と取付枠のすき間から雨水が侵入しないようパテ③を詰めます。



※特に下部のパテ詰めはしっかりおこなってください。
※その他の箇所を取付枠と窓との間にすき間がある場合は、その部分にもパテ③を詰めてください。

■エアコン廃棄時にご注意願います。



ウィンドエアコンには最大でCO₂ (温暖化ガス) 900kg に相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。

【冷媒の見える化表示について】

この表示は、ウィンドエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。(廃棄時には家電リサイクル法の制度に基づき適正な引き渡しをしていただければ、確実にフロン類の適正処理がなされます)

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのルームエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化など料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

据付後の確認

■各部品は所定のところに正しく取り付けられていますか。また、取付枠にガタツキはありませんか。各部のネジが確実に締まっているか確認してください。

■エアコンは、取付枠に確実に取り付けられていますか。また、エアコン取付用のクーラー固定ネジは、確実に締まっていますか。

■戸側パッキンがエアコンの吹出口をふさいでいませんか。戸側パッキンは必ず窓に合わせて切断してください。

■雨もりの原因となるすき間はありますか。すき間がある場合は、付属のパテで防水シールしてください。

■運転する際には、窓・あみ戸を必ず開けてください。

■台風や暴風雨のとき、また長期外出するときなど、エアコンを停止し、雨戸や窓を開めてください。

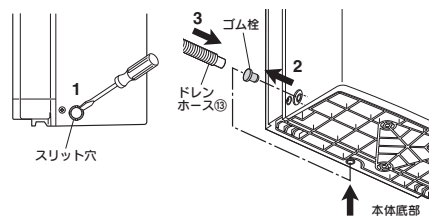
■長期間エアコンを使用しない場合(シーズンオフなど)はリターンドレンの先端を据付枠下部の引っ掛け部に引っかけてください。

室内排水の場合

- 1 本体左側面のスリット穴部を打ち抜き、ゴム栓をプライヤなどで取りはずします。
- 2 取りはずしたゴム栓を本体底部の室外排水口に取り付けます。
- 3 ドレンホースのφ16mm径側を下図の位置へしっかりと差し込みます。

【注意】

- 雨が降った際、雨水と除湿水が同時に排水されます。
- ドレンホースが途中でつぶれたり、もち上がらないように取り付けてください。
- ドレンホースの先端は、排水受けタンクの水面より上になるようにしてください。



電気工事

■水気のある場所あるいは湿気の多い場所で使用される場合は、感電事故を防ぐため、アース工事や漏電しゃ断器の取り付けが必要です。

■電気工事・アース工事は、電気工事士の資格が必要です。電気工事やアース工事が必要な場合は、お買いあげの販売店または電気工事店にご依頼ください。

電源

■電源プラグの改造や電源コードの延長、タコ足配線は、しないでください。感電、火災の原因になります。

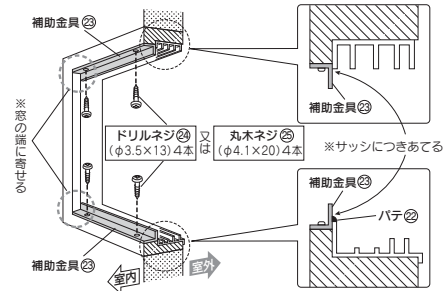
■屋内の壁コンセントで2口以上になっていても単独で使用し、100V15A以上のコンセントが確認してください。屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの発熱の原因になります。

据え付け及び、取付枠についてのご相談は、お買いあげの販売店にご依頼ください。

A 据付窓の立ち上がりにネジ止めできない場合

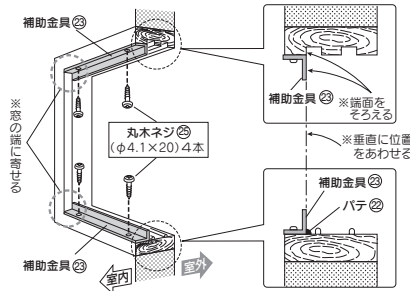
1 補助金具を取り付ける

【アルミ製窓の場合】



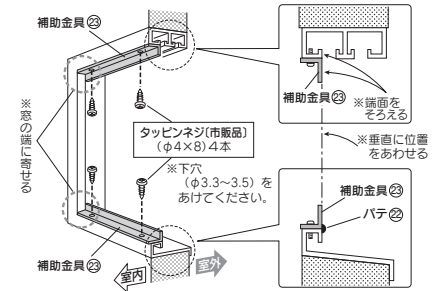
■窓の下側に取り付けした補助金具②と窓枠の間はパテ⑥をすり込んで防水シールしてください。

【木製窓の場合】



■補助金具は窓の開閉ができる位置に取り付けてください。
■窓の下側に取り付けした補助金具②と窓枠の間はパテ⑥をすり込んで防水シールしてください。

【スチール製窓の場合】



■右側据え付けで戸締まりできない場合は、左側据え付けにしてください。
■窓の下側に取り付けした補助金具②と窓枠の間はパテ⑥をすり込んで防水シールしてください。

2 枠を補助金具に取り付ける

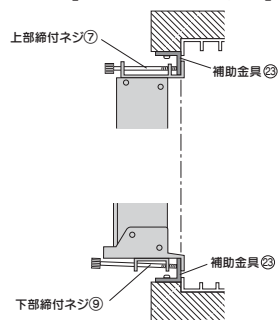
■補助金具に上部・下部締付ネジで取付枠を取り付けます。

据え付け方は、表面の **据付手順 1**へ

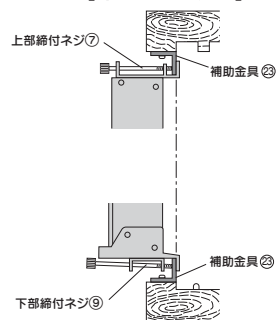
注意

右側据え付けの場合、窓の構造によっては戸締まりができないことがあります。窓が取付枠にあたりなく完全に閉まることを確認してください。窓が取付枠にあたる場合は、左側据え付けに変更してください。

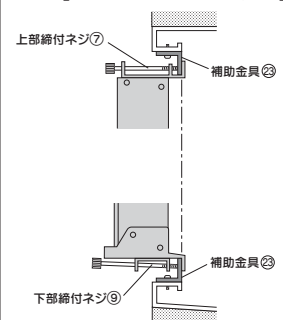
【アルミ製窓の場合】



【木製窓の場合】



【スチール製窓の場合】

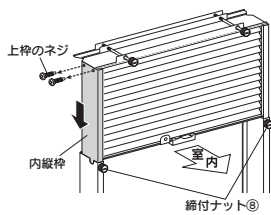


B 据付窓の高さ寸法が低い場合

■図はアルミ製窓を基本に説明しています。

1 アコーディオンパネルをはずす

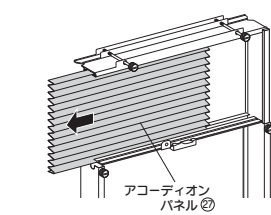
1 上枠のネジをはずし、内縦枠を下へスライドさせます。



※取りはずしたネジは、後で必要ですので、なくさないでください。

※締付ナット⑩ははずさないでください。内部の部品がはずれるおそれがあります。

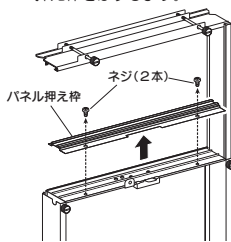
2 アコーディオンパネル⑪を横へスライドさせ、はずします。



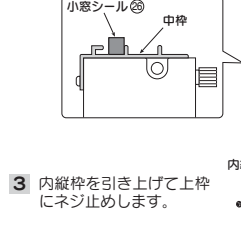
2 窓の高さに合わせて作業する

【窓の高さ813～816mm(アルミ製)の場合】

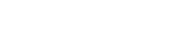
1 ネジ2本をはずし、パネル押え枠をはずします。



2 小窓シール⑫を貼り付けます。

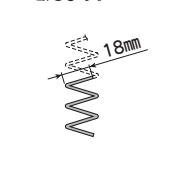


3 内縦枠を引き上げて上枠にネジ止めします。

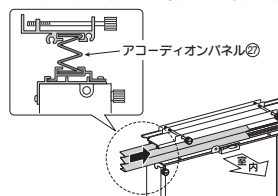


【窓の高さ816～843mm(アルミ製)の場合】

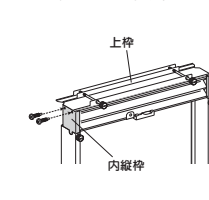
1 アコーディオンパネル⑪を下側3山分切断します。



2 切断したアコーディオンパネル⑪(3山)をもとどおり組み立てます。

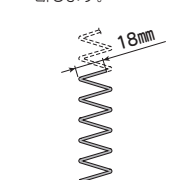


3 内縦枠を引き上げて上枠にネジ止めします。

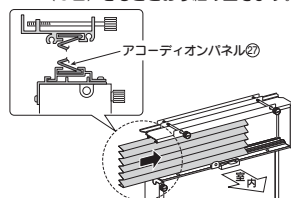


【窓の高さ843～888mm(アルミ製)の場合】

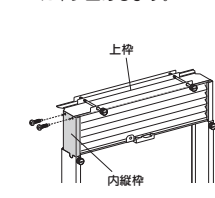
1 アコーディオンパネル⑪を下側6山分切断します。



2 切断したアコーディオンパネル⑪(6山)をもとどおり組み立てます。

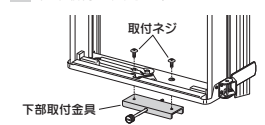


3 内縦枠を引き上げて上枠にネジ止めします。



【窓に下部取付金具があたってはめ込みできない場合】

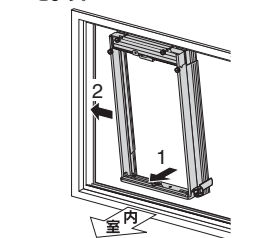
1 下部取付金具をはずす



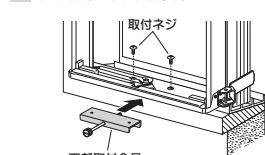
※下部取付金具、取付ネジは後で必要です。なくさないでください。

2 枠をはめ、端に寄せる

上枠をサッシに差し込み、下枠を室外側から室内側へ1の矢印方向に引き入れて、サッシの下立ち上がりへのせ、2の矢印方向に寄せます。



3 下部取付金具を取り付ける



3 枠を据え付ける

据え付け方は、

表面の **据付手順 1**へ